

第3次地域福祉計画・地域福祉活動計画の
進捗状況

社会福祉協議会の取組み

【令和5年度の取組状況】

目 次

基本目標1 誰もがいきいきと自分らしく暮らすことができる地域づくり

(1) 地域福祉への関心を高めます

(1) 福祉教育や生涯学習等の充実を図ります

①大人から子どもまで全ての世代を対象とした福祉教育の推進を図ります 1

②地域福祉や介護予防に関する出前講座を充実し、地域福祉への理解や関心を高めます 2

③認知症サポーター養成講座や、共生支援事業等の開催により、地域共生社会への理解を深めます 3

(2) 地域福祉活動の担い手を育成します

(1) ボランティア活動を推進します

①市と連携し、ボランティアへのきっかけをつくるような講座の開催やボランティア団体の支援等、ボランティアセンターの機能強化を図ります 4

基本目標2 誰もがお互いの気持で支え合う地域づくり

(1) 地域にあった支え合いの構築を図ります

(1) 住民自らが参加する小地域福祉活動を推進します

①くき元気サービス等住民同士の助け合い活動を推進します 5

②福祉委員による挨拶や声かけ、見守り活動を推進します 6

③身近な地域の範囲で、地域の実情に合った福祉活動を推進します 7

(2) 世代を超え、誰でも参加できる身近な地域活動の充実を図ります

(1) 小地域福祉活動を推進します

①ふれあい・いきいきサロン等、誰でも参加できる場づくりに努めます。また、サロン同士の情報交換やネットワークの構築を図ります。 8

基本目標3 誰もがつながり、一緒に取り組む地域づくり

(1) 複雑化・複合化した生活課題に対応するため、包括的な相談支援体制を構築します。

(1) 総合相談機能を強化します

① 多様な相談を受け止め、他機関と連携しながら支援に取り組みます

9

② 専門職による総合的な相談支援の仕組みづくりを行います

10

(2) 支援を必要とする人が適切な支援を受けることができるよう、わかりやすい情報提供を行います

(1) わかりやすく多様な手法による情報発信を行います

① ニーズや世代に応じて、社協だよりやホームページ等の活用を工夫します

11

② 地域福祉について理念や方向性を含め、必要な情報提供に努めます

12

③ 相談内容に応じた相談窓口をわかりやすく示します

13

(3) 個々の活動をつなぐ仕組みをつくります

(1) OSW(コミュニティソーシャルワーク)機能を推進します

① 地域住民や関係機関と制度、分野、世代等を超えた活動や、新たな課題の解決にむけた連携について取り組みます

14

② 地域アセスメントを行い、地域課題の把握や地域づくりに役立てます

15

基本目標4 誰もが安全で安心して暮らせる地域づくり

(1) 災害の備えや地域の見守り体制を強化し、孤立しない地域づくりを行います

(1) あんしんカードの設置を推進します

① 災害時や緊急時に活用できるあんしんカードの必要性を周知し、配布や設置を推進します

16

(2) 災害ボランティアセンターの運営

① 災害時に備えて、災害ボランティアセンター立上げ訓練を実施します

17

② 災害に備える地域活動への参画とネットワークを強化します

18

(2) 住み慣れた地域で自分らしく生活を送るために、福祉サービスの充実を図ります。

(1) 権利擁護に関する理解の促進に取り組みます

① 権利擁護に関して活動実践者や関係機関との連携強化を図り、理解の促進に努めます

19

(2) 各種サービスや事業を円滑に実施します

① 地域福祉事業や在宅福祉事業を円滑に実施します

20

(1) 地域福祉への関心を高めます

主な取り組み	(1) 福祉教育や生涯学習等の充実
内 容	①大人から子どもまで全ての世代を対象とした福祉教育の推進
主な担当課	
令和5年度 実施事業	【事業内容】 福祉教育の依頼に対し社協職員が講師を務める他、当事者やボランティアの派遣調整を行いました。
	【実績値】※開催日や実施回数、参加人数等、実績が分かる数値をご記入ください。 ①学校での福祉教育 小・中学校22校 内容：車いす体験、アイマスク体験、点字体験、手話体験、福祉講話等 ②地域での福祉教育 内容：第3次久喜市地域福祉計画・地域福祉活動計画の説明、車いす体験等
	【成果】 体験や当事者の講話を多く取り入れ、地域住民や生徒・学生へ福祉に対する関心を高めることができました。
問題点・課題 ・今後の対応	※問題点や課題がある場合にはご記入ください。
進捗状況	☒ 順調に進んでいる ☐ 概ね順調に進んでいるが一部に不十分な点や改善すべき点がある ☐ 実施されているが不十分な点が多い ☐ 事業内容や実施方法など見直しが必要 ☐ 未実施
	【上記項目の評価理由】 地域住民、学校への依頼に応え福祉教育の推進を図っているため

(1) 地域福祉への関心を高めます

主な取り組み	(1) 福祉教育や生涯学習等の充実
内 容	②地域福祉や介護予防に関する出前講座を充実し、地域福祉への理解や関心を高める
主な担当課	
令和5年度 実施事業	【事業内容】 社協の出前講座として、職員が地域や学校に出向き、講義や実技を行いました。
	【実績値】 ※開催日や実施回数、参加人数等、実績が分かる数値をご記入ください。 社協の出前講座 133回 内容：健康講座、福祉教育、事業紹介、認知症サポーター養成講座等
	【成果】 職員が地域に出向き、地域性や対象にあわせ出前講座を実施することで、依頼に応えるとともに地域や福祉への関心を高めることができました。
問題点・課題 ・今後の対応	※問題点や課題がある場合にはご記入ください。
進捗状況	☒ 順調に進んでいる ☐ 概ね順調に進んでいるが一部に不十分な点や改善すべき点がある ☐ 実施されているが不十分な点が多い ☐ 事業内容や実施方法など見直しが必要 ☐ 未実施
	【上記項目の評価理由】 依頼、実績数が増加しているため

(1) 地域福祉への関心を高めます

主な取り組み	(1) 福祉教育や生涯学習等の充実を図ります。
内 容	③認知症サポーター養成講座や、共生支援事業等の開催により、地域共生社会への理解を深める
主な担当課	
令和5年度 実施事業	【事業内容】 認知症サポーター養成講座や、共生支援事業を実施し、地域共生社会への理解を深めました。
	【実績値】※開催日や実施回数、参加人数等、実績が分かる数値をご記入ください。 ①認知症サポーター養成講座 実施回数10回 受講者259人 ②認知症サポーターステップアップ講座 実施回数3回 受講者73人 ③共生支援事業 5/13「障がいを知り、災害時に支えあえる地域づくり」受講者64人
	【成果】 地域住民に地域共生社会と支え合いについて理解を深めることができました。
問題点・課題 ・今後の対応	※問題点や課題がある場合にはご記入ください。
進捗状況	☒ 順調に進んでいる ☐ 概ね順調に進んでいるが一部に不十分な点や改善すべき点がある ☐ 実施されているが不十分な点が多い ☐ 事業内容や実施方法など見直しが必要 ☐ 未実施
	【上記項目の評価理由】 地域共生社会について理解を促す事業を実施できているため

(2) 地域福祉活動の担い手を育成します

主な取り組み	(1) ボランティア活動の推進
内 容	①市と連携し、ボランティアのきっかけをつくるような講座の開催やボランティア団体の支援等、ボランティアセンターの機能強化
主な担当課	
令和5年度 実施事業	【事業内容】 技術を要するボランティア養成講座や、夏休み期間に気軽に参加できるボランティア体験プログラム事業を実施しました。また登録ボランティア団体に対し、活動情報の発信や助成金の支援を行う他、ボランティア全般の情報発信、コーディネートを実施しました。
	【実績値】※開催日や実施回数、参加人数等、実績が分かる数値をご記入ください。 ①音訳ボランティア養成講座 全10回 受講者17人 ②点訳ボランティア養成講座 全12回 受講者7人 ③ガイドヘルプボランティア養成講座 全3回 受講者4人 ④手話奉仕員養成講座（入門編） 全21回 受講者19人 ⑤手話奉仕員養成講座（基礎編） 全25回 受講者8人 ⑥ボランティア体験プログラム事業 18メニュー 参加者137人 ⑦ボランティア登録数 団体73団体 個人171人 ⑧ボランティア団体活動助成金交付数 37団体 交付金額1,566,449円 久喜市ボランティア団体協議会 交付金額320,000円 ⑨ボランティア活動保険掛金助成数 866人 ⑩ボランティア派遣調整731件 ボランティア情報提供 通知30回 情報配信メール22回 動画配信1回 LINE配信9回
	【成果】 初めての方がボランティアに参加できるようなきっかけづくりを行うとともに、迅速な情報提供に努めました。
問題点・課題 ・今後の対応	※問題点や課題がある場合にはご記入ください。
進捗状況	■順調に進んでいる ☐概ね順調に進んでいるが一部に不十分な点や改善すべき点がある ☐実施されているが不十分な点が多い ☐事業内容や実施方法など見直しが必要 ☐未実施
	【上記項目の評価理由】 講座開催や団体支援が予定どおり実施できたため

主な取り組み	(1) 住民自らが参加する小地域福祉活動を推進
内 容	①くき元気サービス等、住民同士の助け合い活動を推進
主な担当課	
令和5年度 実施事業	【事業内容】 地域住民同士の助け合い活動として、くき元気サービス事業、ふれあい電話サービス事業、ふれあい食事サービス事業を実施しました。
	【実績値】※開催日や実施回数、参加人数等、実績が分かる数値をご記入ください。 ①くき元気サービス事業 ・利用会員登録者 671人 協力会員登録者156人（うち新規登録者9人） ・延べ利用時間946時間 利用回数878回 ・協力会員研修会 2回実施 参加者41人 ②ふれあい電話サービス事業 ・開催数延べ116回 利用者数延べ472人 ボランティア数延べ159人 ③ふれあい食事サービス事業 ・栗橋地区31回実施 利用者延べ361人 ボランティア延べ567人 ・鷺宮地区34回実施 利用者延べ768人 ボランティア延べ560人
	【成果】 元気な高齢者等がボランティア活動をすることで、自身の介護予防や健康維持を図るとともに、利用者支援を行う住民同士の支え合い活動を展開することができました。
問題点・課題 ・今後の対応	※問題点や課題がある場合にはご記入ください。
進捗状況	☒ 順調に進んでいる ☐ 概ね順調に進んでいるが一部に不十分な点や改善すべき点がある ☐ 実施されているが不十分な点が多い ☐ 事業内容や実施方法など見直しが必要 ☐ 未実施
	【上記項目の評価理由】 くき元気サービス事業の新規登録協力会員数がほぼ目標値に達したため

(1) 地域にあった支え合いの構築を図ります

主な取り組み	(1) 住民自らが参加する小地域福祉活動を推進
内 容	②福祉委員による挨拶や声かけ、見守り活動を推進
主な担当課	
令和5年度 実施事業	【事業内容】 福祉委員を配置し身近な声かけや見守りを行い、気づきを社協等に連絡いただくことで課題の早期発見や専門機関につなぐ仕組みを推進しました。
	【実績値】※開催日や実施回数、参加人数等、実績が分かる数値をご記入ください。 福祉委員委嘱者数 96地区 286人 ・福祉委員研修会 久喜・鷺宮地区9/15 参加者34人 葛蒲地区12/2 参加者16人 栗橋地区1/19 参加者13人
	【成果】 福祉委員と顔の見える関係づくりを推進し、地域の現状や課題把握に努めることができました。
問題点・課題 ・今後の対応	※問題点や課題がある場合にはご記入ください。
進捗状況	☒ 順調に進んでいる ☐ 概ね順調に進んでいるが一部に不十分な点や改善すべき点がある ☐ 実施されているが不十分な点が多い ☐ 事業内容や実施方法など見直しが必要 ☐ 未実施
	【上記項目の評価理由】 地域住民と連携協働できているため

(1) 地域にあった支え合いの構築を図ります

主な取り組み	(1) 住民自らが参加する小地域福祉活動を推進
内 容	③身近な地域の範囲で、地域の実状に合った福祉活動を推進
主な担当課	
令和5年度 実施事業	【事業内容】 身近な居住区域における地域課題やニーズの発見、解決を図るために、地区あったか会議の展開を図りました。
	【実績値】 ※開催日や実施回数、参加人数等、実績が分かる数値をご記入ください。 ・第1回公団久喜青葉団地あったか会議 4/21 参加者19人 ・第2回公団久喜青葉団地あったか会議 11/24 参加者22人 ・第4回久喜東小地区あったか会議 6/24 参加者70人 ・第4回本町小地区あったか会議 11/25 参加者33人 ・わし宮団地情報交換会 1/31 参加者23人 ・栢間地区情報交換会 2/20 参加者20人
	【成果】 地域の現状にあわせ、地区あったか会議やそれにつながる情報交換会を各地区で開催することができました。
問題点・課題 ・今後の対応	※問題点や課題がある場合にはご記入ください。
進捗状況	☒ 順調に進んでいる ☐ 概ね順調に進んでいるが一部に不十分な点や改善すべき点がある ☐ 実施されているが不十分な点が多い ☐ 事業内容や実施方法など見直しが必要 ☐ 未実施
	【上記項目の評価理由】 地区あったか会議新規設置の目標数に達したため

(2) 世代を超え、誰でも参加できる身近な地域活動の充実を図ります

主な取り組み	(1) 小地域福祉活動を推進
内 容	①ふれあい・いきいきサロン等、誰でも参加できる場づくり サロン同士の情報交換やネットワークの構築
主な担当課	
令和5年度 実施事業	【事業内容】 誰でも参加できる居場所としてふれあい・いきいきサロン活動を推進しました。またサロン同士の 情報交換や実践活動につながる情報発信の機会をつくりました。
	【実績値】※開催日や実施回数、参加人数等、実績が分かる数値をご記入ください。 ふれあい・いきいきサロン 登録数63ヶ所 ・サロン活動助成金交付数 57団体 交付金額3,179,554円 ・ふれあい・いきいきサロン代表者会議 全2回開催 参加者52人
	【成果】 代表者会議にて、サロンの介護予防、孤立防止、課題の早期発見という役割を実践者と確認し、今 後の活動の活性化を図ることができました。
問題点・課題 ・今後の対応	※問題点や課題がある場合にはご記入ください。
進捗状況	☒ 順調に進んでいる ☐ 概ね順調に進んでいるが一部に不十分な点や改善すべき点がある ☐ 実施されているが不十分な点が多い ☐ 事業内容や実施方法など見直しが必要 ☐ 未実施
	【上記項目の評価理由】 新規サロン登録数が目標を達成したため

(1) 複雑化、複合化した生活課題に対応するため、包括的な相談支援体制を構築します

主な取り組み	(1) 総合相談機能を強化
内 容	①多様な相談を受け止め、他機関と連携しながら支援に取り組む
主な担当課	
令和5年度 実施事業	【事業内容】 生活上のすべてをとらえる体制で相談に対応し、他機関と連携して問題の解決を図りました。
	【実績値】 ※開催日や実施回数、参加人数等、実績が分かる数値をご記入ください。 ・相談件数 延べ7,684件 ・福祉なんでも相談 相談件数55件（専用電話52件 メール3件） ・社協の出前相談 わし宮団地地区 10回 16人 あやめまつり 8人
	【成果】 相談情報共有システムを活用し、職員間で相談内容の共有を図りながら、相談に対応する体制を整え、相談支援を行うことができました。
問題点・課題 ・今後の対応	
進捗状況	☒ 順調に進んでいる ☐ 概ね順調に進んでいるが一部に不十分な点や改善すべき点がある ☐ 実施されているが不十分な点が多い ☐ 事業内容や実施方法など見直しが必要 ☐ 未実施
	【上記項目の評価理由】 他機関との相談対応が図れているため

(1) 複雑化、複合化した生活課題に対応するため、包括的な相談支援体制を構築します

主な取り組み	(1) 総合相談機能を強化
内 容	②専門職による総合的な相談支援の仕組みづくり
主な担当課	
令和5年度 実施事業	【事業内容】 生活困窮者支援や社会福祉法人の社会貢献活動等を通して、行政を含めた専門職の連携の仕組みづくりを推進しました。
	【実績値】※開催日や実施回数、参加人数等、実績が分かる数値をご記入ください。 ①生活困窮者自立支援事業支援調整会議 12回 ②彩の国あんしんセーフティネット事業への参画 ・セーフティネット事業と連携した支援12件 ・事業に関する研修及び情報交換会 1回 ・担当者会議 1回 ③社会福祉法人の公益的な取組み ・市内社会福祉法人へアンケート実施 ④CSW自主学習会 2回実施 参加者68人
	【成果】 行政や関連機関と課題を共有し、協働した相談対応、支援について検討を図ることができました。
問題点・課題 ・今後の対応	※問題点や課題がある場合にはご記入ください。
進捗状況	☒ 順調に進んでいる ☐ 概ね順調に進んでいるが一部に不十分な点や改善すべき点がある ☐ 実施されているが不十分な点が多い ☐ 事業内容や実施方法など見直しが必要 ☐ 未実施
	【上記項目の評価理由】 会議等の開催にとどまらず、日頃の支援においても専門職の連携が図れているため

主な取り組み	(1) わかりやすく多様な手法による情報発信
内 容	①ニーズや世代に応じて、社協だよりやホームページ等の活用工夫
主な担当課	
令和5年度 実施事業	【事業内容】 全戸配布である社協だよりの発行やホームページ等による情報発信に際し、読みやすくわかりやすい内容を努めました。
	【実績値】 ※開催日や実施回数、参加人数等、実績が分かる数値をご記入ください。 ①くき社協だより 毎月発行No.90～101 地域情報や写真等身近な情報掲載に努めました。 ②情報配信メール 配信回数48回 登録者数220人 迅速な情報発信に努めました。 ③LINE 配信回数68回 友だち登録者数285人 定期的な配信を実施し登録者の増加を図りました。 ④YouTube「くき社協ちゃんねる」動画配信9本
	【成果】 情報手段の特性に応じ、方向性を設定し情報提供を行うことができました。
問題点・課題 ・今後の対応	※問題点や課題がある場合にはご記入ください。
進捗状況	☒ 順調に進んでいる ☐ 概ね順調に進んでいるが一部に不十分な点や改善すべき点がある ☐ 実施されているが不十分な点が多い ☐ 事業内容や実施方法など見直しが必要 ☐ 未実施
	【上記項目の評価理由】 定期的な情報発信ができているため

(2) 支援を必要とする人が適切な支援を受けることができるよう、わかりやすい情報提供を行います

主な取り組み	(1) わかりやすく多様な手法による情報発信
内 容	②地域福祉について理念や方向性を含め、必要な情報提供
主な担当課	
令和5年度 実施事業	【事業内容】 社協の出前講座で依頼に応じた情報提供を行う他、福祉委員やくき元気サービス協力会員に定期的に情報紙を発行しています。
	【実績値】 ※開催日や実施回数、参加人数等、実績が分かる数値をご記入ください。 ①社協の出前講座 実施回数133回 ②くき元気サービス協力会員に元気つうしん発行 No.28～29 ③福祉委員にあったかひろば発行 No.28～29
	【成果】 地域の現状や求められている内容などを地域活動実践者に情報発信することができました。
問題点・課題 ・今後の対応	※問題点や課題がある場合にはご記入ください。
進捗状況	☒ 順調に進んでいる ☐ 概ね順調に進んでいるが一部に不十分な点や改善すべき点がある ☐ 実施されているが不十分な点が多い ☐ 事業内容や実施方法など見直しが必要 ☐ 未実施
	【上記項目の評価理由】 定期的な情報発信ができているため

(2) 支援を必要とする人が適切な支援を受けることができるよう、わかりやすい情報提供を行います

主な取り組み	(1) わかりやすく多様な手法による情報発信
内 容	③相談内容に応じた相談窓口をわかりやすく示す
主な担当課	
令和5年度 実施事業	【事業内容】 社協だよりやホームページ、YouTube「くき社協ちゃんねる」による発信や、各事業におけるちらし等で相談窓口を周知しました。また、市内イベントにて社協をPRするとともに、総合相談事業を窓口として必要に応じ関係機関の窓口等を案内しました。
	【実績値】 ※開催日や実施回数、参加人数等、実績が分かる数値をご記入ください。 ①社協だよりにて各種相談先等の紹介 ・No.97 あんしんサポートねっと No.94 教育に関する貸付制度 No.93 ボランティア体験 ②ちらし等作成 ・地域包括支援センターちらしを市と作成し、出前講座等で配布 ・LINEやHP、YouTubeの二次元コードを入れたちらしをボランティア講座等で配布 ③市内イベントで福祉、介護に関する相談や情報紹介 ・6/11あやめまつり 10/19赤花そば栗橋やさしさときめきまつり ④SNS等を活用した情報発信 ・LINE 配信回数68回 友だち登録者数285人(3月末現在) ・情報配信メール 配信回数48回 登録者数220人
	【成果】 いろいろな情報発信の媒体を活用することで、相談窓口の紹介や入口が広がっています。
問題点・課題 ・今後の対応	※問題点や課題がある場合にはご記入ください。
進捗状況	☒ 順調に進んでいる ☐ 概ね順調に進んでいるが一部に不十分な点や改善すべき点がある ☐ 実施されているが不十分な点が多い ☐ 事業内容や実施方法など見直しが必要 ☐ 未実施
	【上記項目の評価理由】 多様な手段での情報提供を実施しているため

(3) 個々の活動をつなぐ仕組みをつくります

主な取り組み	(1) C S W (コミュニティソーシャルワーク) 機能を推進
内 容	①地域住民や関係機関と、制度、分野、世代等を超えた活動や、新たな課題の解決にむけた連携について取り組む
主な担当課	
令和5年度 実施事業	【事業内容】 C S W実践者養成研修の実施等、専門職と地域住民の参加による課題検討の機会を持ち連携を図りました。
	【実績値】 ※開催日や実施回数、参加人数等、実績が分かる数値をご記入ください。 ①社協内にC S Wを21人配置 ②C S W実践者養成研修1Nくき 10/26「連携のもやもやを解消するには」参加者82人 ③C S W自主学習会 2回実施 参加者68人
	【成果】 地域住民と専門職と一緒に研修に参加し意見交換を図ることで、連携を深めることができました。
問題点・課題 ・今後の対応	※問題点や課題がある場合にはご記入ください。
進捗状況	☒ 順調に進んでいる ☐ 概ね順調に進んでいるが一部に不十分な点や改善すべき点がある ☐ 実施されているが不十分な点が多い ☐ 事業内容や実施方法など見直しが必要 ☐ 未実施
	【上記項目の評価理由】 研修会等が予定通り実施できているため

主な取り組み	(1) C S W (コミュニティソーシャルワーク) 機能を推進
内 容	②地域アセスメントを行い、地域課題の把握や地域づくりに役立てる
主な担当課	
令和5年度 実施事業	【事業内容】 地区あったか会議、社協の出前講座、福祉委員との研修や意見交換の中で地域アセスメントを実施し地域課題の把握を行い、職員間で共有を図りました。
	【実績値】※開催日や実施回数、参加人数等、実績が分かる数値をご記入ください。 ①C S W連絡会で地域アセスメントや地域課題について共有 10回実施 ②地域課題や現状をみつめ、地域づくりを推進するために「久喜市の新たなつながり」ヒント集VOL4を作成
	【成果】 アセスメントから把握できた内容で、ヒント集を作成することができました。
問題点・課題 ・今後の対応	※問題点や課題がある場合にはご記入ください。
進捗状況	■順調に進んでいる ☐概ね順調に進んでいるが一部に不十分な点や改善すべき点がある ☐実施されているが不十分な点が多い ☐事業内容や実施方法など見直しが必要 ☐未実施
	【上記項目の評価理由】 定期的にC S W連絡会を開催し、情報共有を図っているため

(1) 災害の備えや地域の見守り体制を強化し、孤立しない地域づくりを行います

主な取り組み	(1) あんしんカードの設置を推進
内 容	①災害時や緊急時に活用できるあんしんカードの必要性を周知し、配布や設置を推進
主な担当課	
令和 5 年度 実施事業	【事業内容】 市の防災カードとして位置づけられているあんしんカードを周知し、自助の取組みとして積極的な配布を図りました。
	【実績値】※開催日や実施回数、参加人数等、実績が分かる数値をご記入ください。 あんしんカード 1,786枚配布 あんしんカード携帯版 1,308枚配布
	【成果】 民生委員・児童委員をはじめ、高齢者大学や移動販売事業者等関係機関の協力を得て配布することができました。
問題点・課題 ・今後の対応	※問題点や課題がある場合にはご記入ください。
進捗状況	■順調に進んでいる ☐概ね順調に進んでいるが一部に不十分な点や改善すべき点がある ☐実施されているが不十分な点が多い ☐事業内容や実施方法など見直しが必要 ☐未実施
	【上記項目の評価理由】 配布数が目標数を達成したため

(1) 災害の備えや地域の見守り体制を強化し、孤立しない地域づくりを行います

主な取り組み	(2) 災害ボランティアセンターの運営
内 容	①災害時に備えて、災害ボランティアセンター立上げ訓練を実施
主な担当課	
令和5年度 実施事業	【事業内容】 災害ボランティアセンター運営マニュアルに沿って、災害ボランティアセンター立上げ訓練を実施しました。
	【実績値】 ※開催日や実施回数、参加人数等、実績が分かる数値をご記入ください。 災害ボランティアセンター立上げ訓練 9/2 参加者24人
	【成果】 ICTを導入した立上げ訓練を初めて実施することができました。
問題点・課題 ・今後の対応	※問題点や課題がある場合にはご記入ください。
進捗状況	☒ 順調に進んでいる ☐ 概ね順調に進んでいるが一部に不十分な点や改善すべき点がある ☐ 実施されているが不十分な点が多い ☐ 事業内容や実施方法など見直しが必要 ☐ 未実施
	【上記項目の評価理由】 マニュアルの見直しや、ICT導入の検討などを図ることができたため

基本目標 4 誰もが安全で安心して暮らせる地域づくり

様式 1

(1) 災害の備えや地域の見守り体制を強化し、孤立しない地域づくりを行います

主な取り組み	(2) 災害ボランティアセンターの運営
内 容	②災害に備える地域活動への参画とネットワークの強化
主な担当課	
令和 5 年度 実施事業	【事業内容】 各地区コミュニティ協議会や地区組織が実施した地域防災活動やイベントに参加し、情報収集を行いました。
	【実績値】※開催日や実施回数、参加人数等、実績が分かる数値をご記入ください。 ①久喜小地区コミュニティ協議会主催防災訓練 6/25 ②太田小地区コミュニティ協議会主催防災講演会 7/8 ③久喜東小・太田小地区コミュニティ協議会主催合同防災訓練 11/18 ④本町小地区コミュニティ協議会主催防災訓練 3/3 ⑤青葉・青毛小地区コミュニティ協議会主催総合防災訓練 3/3
	【成果】 地域防災活動やイベントに参加することで情報収集や実状の確認ができ、併せて地域住民との関係性を強化することができました。
問題点・課題 ・今後の対応	※問題点や課題がある場合にはご記入ください。
進捗状況	■順調に進んでいる ☐概ね順調に進んでいるが一部に不十分な点や改善すべき点がある ☐実施されているが不十分な点が多い ☐事業内容や実施方法など見直しが必要 ☐未実施
	【上記項目の評価理由】 連携の機会をつくらせているため

主な取り組み	(1) 権利擁護に関する理解の促進
内 容	①権利擁護に関して活動実践者や関係機関との連携強化、理解促進
主な担当課	
令和5年度 実施事業	【事業内容】 法人後見事業、成年後見推進事業、福祉サービス利用援助事業等を関係機関と連携しながら、誰もが住み慣れた地域で暮らしやすく生活するために支援を行いました。
	【実績値】※開催日や実施回数、参加人数等、実績が分かる数値をご記入ください。 ①法人後見事業 法人後見ケース3件 法人後見運営委員会7/18 ②市民後見人養成講座（実践編）全5回 受講者9人 成年後見利用促進事業に関する検討会議 5回 ③福祉サービス利用援助事業 利用者数17人
	【成果】 生活支援員研修や成年後見に関する検討会議などにより、支援者の連携が図れています。平成28年度から開催している市民後見人養成講座の修了者は31人となりました。
問題点・課題 ・今後の対応	※問題点や課題がある場合にはご記入ください。
進捗状況	☒ 順調に進んでいる ☐ 概ね順調に進んでいるが一部に不十分な点や改善すべき点がある ☐ 実施されているが不十分な点が多い ☐ 事業内容や実施方法など見直しが必要 ☐ 未実施
	【上記項目の評価理由】 関係機関と定期的に検討会議を実施できているため

(2) 住み慣れた地域で自分らしく生活を送るために、福祉サービスの充実を図ります

主な取り組み	(2) 各種サービスや事業の円滑実施
内 容	①地域福祉事業や在宅福祉事業を円滑に実施
主な担当課	
令和5年度 実施事業	【事業内容】 居宅介護支援事業、福祉車両貸出事業等を実施しています。
	【実績値】※開催日や実施回数、参加人数等、実績が分かる数値をご記入ください。 ①居宅介護支援事業 利用者数78人(3月末時点) ②手話通訳者派遣事業 派遣件数435件 ③障がい者施設の運営 久喜市けやきの木 利用者19人 久喜市くりの木 利用者21人 ④福祉有償運送事業 50回実施 ⑤福祉車両貸出事業 利用件数260件 ⑥福祉用具等貸出事業 車いす延べ297件 その他44件
	【成果】 適正な実施に努めました。
問題点・課題 ・今後の対応	※問題点や課題がある場合にはご記入ください。
進捗状況	☐ 順調に進んでいる ☒ 概ね順調に進んでいるが一部に不十分な点や改善すべき点がある ☐ 実施されているが不十分な点が多い ☐ 事業内容や実施方法など見直しが必要 ☐ 未実施
	【上記項目の評価理由】 ④福祉有償運送事業について、車輛の老朽化が進んでいるため